

第3学年 英語科学習指導案

令和4年5月24日（火）第5校時

3年A組 児童数 36名

指導者 尾野 歆多 Cherish Warden

1 単元名 How many ? 数えてあそぼう

(Let' s Try! 1 Unit3 How many? 数えてあそぼう)

2 単元の目標

友達や先生達と仲良くなるために、自分や身の回りの事柄に関連する数について、1～20までの数を言ったり、数を尋ねたり答えたりして伝え合う。

3 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと 【やり取り】	<p><知識> 自分や身の回りの事柄に関連する1から20までの数の言い方や How many (apples)? (Ten) (apples). Yes. That' s right. / No. Sorry. などを用いて数を尋ねたり答えたりする言い方を理解している。</p> <p><技能> 自分や身の回りの事柄に関連する1から20までの数の言い方や How many (apples)? (Ten) (apples). Yes. That' s right. / No. Sorry. などの尋ねたり答えたりする技能を身に付けている。</p>	<p>友達や先生と仲良くなるために、自分や身の回りの事柄に関連する数について、1から20までの数や、関連する語句や基本的な表現を使ってクイズを出したり答えたりして伝え合っている。</p>	<p>友達や先生と仲良くなるために、自分や身の回りの事柄に関連する数について、1から20までの数や、関連する語句や基本的な表現を使ってクイズを出したり答えたりして伝え合おうとしている。</p>

4 単元設定の趣旨

本単元では、歌やゲーム等を通して1から20までの数の表現に慣れ親しみ、尋ね合うことをねらいとしている。本単元で数の言い方に慣れ親しむことで、4年生の What time is it?の素地となる力を養うことのできる単元である。児童の身の回りにあるものの数を取り上げるなど、児童が興味・関心を高めるような活動を工夫することで、ねらいに迫ることができると考える。

本単元のねらいを達成するために、単元ゴールを「友達や先生と仲良くなるために、数クイズをしてコミュニケーションを図ろう」と設定した。児童が自分に関連する数についてのクイズを作り、友達や先生に尋ねたり答えてもらったりする活動をする中で、児童が主体的に取り組むことができると考える。第1時では、教員が作成したクイズに取り組むことで見通しを持たせる。その際、3年生になって1つのクラスとなり友達が増えたことや、4月に転任してきた教員とは接する機会が少ないことを想起させ、仲良くなることを目的としてクイズを行うというゴールイメージを共有する。第2時では、前時で学習した数を尋ねる表現を繰り返す活動を行う。数名の児童が揃んだおはじきの数について、他の児童が予想して尋ねたり答えたりする活動や、身近な漢字を題材に、画数を数えたり、画数からどの漢字か予想する活動等を取り入れ、児童が自ら“How many ~?”と尋ねたり、1から20までの数を聞いたり言ったりできるようにする。第3時では、友達とクイズを出し合う。活動を通して、クイズの出し方や、答えを出した後の反応の仕方や言い方についても表現できるように指導する。本時では、チャンツ等を通して、1から20までの数の言い方や尋ね方を振り返る。その後、目

的、場面・状況を確認することで、児童の学習意欲を高めたい。Activity1では、参観している先生たちのもとへ行き、イラストを用いて、自分に関連する数クイズを出す。中間評価では、先生達やALTから感想やアドバイスをもらい、より先生達と仲良くなるために改善していく。Activity2では、中間評価でのアドバイスや感想をもとに、もう一度、先生達にクイズを出しに行く。中間評価を受け、ブラッシュアップした児童の様子を評価することで、児童に達成感を味わわせたい。

本学級の児童は、1年生のときから外国語活動を積み重ね、英語を聞いたり話したりすることに慣れ親しんでいる。英語でのチャンツやゲーム等を取り入れた活動では、とても意欲的であり、楽しんで活動している。また、やり取りをするときも、表現することへの恥じらいがあまり見られず、積極的な児童が多い。しかし、アクティビティの際に言葉がつまり、会話が成立しなくなり、英語でやり取りをする事に対し自信が持てない児童もいる。英語に対して自信が持てない児童には、スモールステップで成功体験を重ねて自信をつけさせ、積極的に活動に参加できるようにしていきたい。

5 単元の指導計画と評価計画（4時間）

時	目標	主となる学習活動	評価規準		
			知技	思判表	態度
1	1～10 の数の言い方や数を尋ねたり答えたりする表現を理解したり話したりしている。	<ul style="list-style-type: none"> ○ “♪Hello Song” の歌 (Unit 2) ○身の回りの数の言い方を知る。 【Let’ s Play 2】 p.12 ・指導者とじゃんけんをする。No.1 (10) じゃんけんを10回行った結果を記入させた後に、How many circles/triangles/crosses?と尋ね、表に記入した○、△、×のそれぞれの数を数えさせる。 ・How many apple ?クイズ 画面に映し出されるものを見て、その数を尋ねる。 ①1種類の物が複数ある。 ②2～3種類のよく似たものがそれぞれ複数ある。 ・どの漢字かな 漢字の画数を尋ねたり、答えたりする。 【Let’ s Sing】 “♪Ten Steps” p.10 	や		
2	1～20 の数の言い方や数を尋ねたり答えたりする表現を理解したり話したりしている。	<ul style="list-style-type: none"> ○ “♪Hello Song” の歌 (Unit 2) 【Let’ s Sing】 “♪Ten Steps” p.10 【Let’ s Play 1】 p.10, 11 ・おはじきゲームをする。 【Let’ s Play 2】 p.12 ・指導者とじゃんけんをする。No.2 (10回) ○クラブ・ゲーム 	や		
3	友達と仲良くなるために、数を尋ねたり答えたりして伝え合っている。/ 伝え合おうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ○ “♪Hello Song” の歌 (Unit2) 【Let’ s Sing】 “♪Ten Steps” p.10 【Let’ s Play 2】 p.12 ・指導者とじゃんけんをする。No.2 (10回) 【Let’ s Play 3】 p,13 【Activity】 ・友達と How many クイズをする。 		や	や
4 (本時)	先生達と仲良くなるために、自分に関連する数クイズを通して、1～20までの数を尋ねたり答えたりして、自分のことを伝えている/伝えようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 【Let’ s Sing】 “♪Ten steps” p.10 ○最終ゴールの見通しを持つ。 ・チャンツ 【Activity】 ・先生達とHow many クイズをする。 		や	や

6 本時の指導

(1) 目標 先生達と仲良くなるために、自分に関連する数クイズを通して、1から20までの数を尋ねたり答えたりすることができる。

(2) 評価規準

先生達と仲良くなるために、自分に関連する数クイズを通して、1から20までの数を尋ねたり答えたりして、自分のことを伝えている。/ 伝えようとする。(思考・判断・表現 / 主体的に学習に取り組む態度)

(3) 展開 (4/4)

時間	学習活動	○指導上の留意点 ■評価【方法】
(2分)	1 挨拶をする。	○日直の児童が前に出やすいよう元気に合図を出す。
(5分)	2 復習をする。 ・歌 “♪Ten steps” (Unit 2) ・チャンツ等を通して、数の言い方や尋ね方を復習する。	○掲示物を用意し、児童が自分たちで数の言い方を復習できるようにする。
(3分)	3 本時のめあてを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">(課)先生たちと仲よくなるために数クイズをしよう。</div>	○児童と目的、場面・状況を確認する。
(8分)	4 How many クイズをする① (10分) ○漢字の画数クイズ (自分の名前の漢字一文字) ○クラブクイズ (自分に関連する数) ○How many apples クイズ (自分の好きなもの等) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">Hello.My name is (名前).What's your name?Let's quiz!How many (数えてほしい物) s ?That's right!/No.sorry.Thank you.</div> 【中間評価】(5分) 5 もう一度、クイズをする② (13分) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">Hello.My name is (名前). What's your name?Let's quiz! I like apples.→付加された自分の情報 How many apples? That's right!/No.sorry.Thank you.</div>	○指導者とALTとのやり取りを見せて、学習の見通しをもたせる。 ○中間評価で、その数(クイズ)にした理由を引き出し、既習の英語表現と結びつける。 ○中間評価を受け、ステップアップするために、変容した児童を評価する。 ■話すこと(思考・判断・表現 / 主体的に学習に取り組む態度)【行動観察】 先生達と仲良くなるために、自分に関連する数クイズを通して、1から20までの数を尋ねたり答えたりして、自分のことを伝えている/ 伝えようとする。
(5分)	6 今日の授業をふり返る。 ・ふり返りシートに記入し、発表する。 7 ALTよりコメントをもらう。	○ふり返りシートに記入させ、できたこと等を発表させる。 ○評価規準にそって、中間評価をもとに変容した児童の様子についてコメントする。
(2分)	8 終わりのあいさつをする。	○日直の児童が前に出やすいよう元気に合図を出す。